

令和8年度 上下水道局 行政運営方針

<令和8年度 上下水道局の方針（使命、目標）>

水道施設の更新や耐震化を進め、水道水の安定した供給を維持していくとともに、下水道整備のさらなる推進や施設の長寿命化を図り、安定した汚水処理サービスを提供していく。
また、デジタル技術の活用や官民連携手法による効率的な施設の維持管理を推進し、健全な経営に努めながら、将来にわたって持続可能な上下水道事業の実現を目指す。

① 政策分野 32 上下水道（上水道事業）

<重点方針> 安全な水の安定供給に向けた水道施設の更新

- ・水道の安定供給を維持するために重要給水施設配水管整備事業や老朽管更新事業など、管路の更新と耐震化への取組みを推進する。
- ・大戸浄水場や東山浄水場などにおいては、給水区域内人口の減少と施設の老朽化を踏まえ施設の改修を実施するとともに、施設の統廃合及び配水区の再編などの検討を進める。

<主要事業>

- ・重要給水施設配水管整備事業 1億4,704万円（上水道施設課）
重要給水施設までの管路の耐震化を行い、災害時における常時給水機能の強化を図る。
- ・老朽管更新事業 2億3,715万円（上水道施設課）
水道事業創設時の老朽管の更新を行い、漏水事故防止や管路の耐震化を図る。
- ・下雨屋増圧ポンプ場更新工事 1億9,799万円（上水道施設課）
大戸配水区再編に伴い、配水管、電気及び機械設備を更新し機能強化を図る。
- ・大戸配水池追塩設備設置外工事 9,223万円（上水道施設課）
大戸配水区再編に伴い、追塩設備を整備し水質保持を図る。

② 政策分野 32 上下水道（上水道事業）

<重点方針> 健全な水道事業経営と事業の効率化

- ・健全な経営の継続を図るため、アセットマネジメントの手法を用いた事業計画・財政計画の実行と財務状況を検証し、適正な水道料金の検討を行う。
- ・水道施設の更新事業や維持管理などにデジタル技術を積極的に活用していくことで、更新工事の効率化と施工管理の高度化を図りながら、水道施設の安全性を高め、持続ある水道事業を目指していく。
- ・具体的には、AI等を活用した管路の劣化度診断に基づく更新工事の実施やドローンで撮影した水道施設画像のAI解析による劣化状況の診断、常時監視型の漏水調査や残留塩素の管理業務などの取組を進める。

<主要事業>

- ・水道管路劣化度再診断業務委託 1,501万円（上水道施設課）
過去に実施したAIによる管路診断をベースに、その後の修繕データ等からAIにより管路劣化度を再診断する。
- ◎水道施設機能診断業務委託 1,577万円（上水道施設課）
ドローンで水道施設（八幡配水池）の内壁及び外壁を撮影し、AIの画像解析によりコンクリート等の劣化状況を診断する。

③ 政策分野 32 上下水道（下水道事業）

<重点方針> 地域に適した下水道事業の運営と維持管理

- ・快適で衛生的な生活環境の提供と公共用水域の水質保全を図るため、引き続き地域に適した下水道事業（公共下水道事業、農業集落排水事業、個別生活排水事業）を推進する。特に公共下水道事業の事業認可拡大区域 155ha(R3～ 7ヵ年計画：飯寺北三丁目、飯寺南三丁目、東年貢一丁目、北青木、花見ヶ丘など)について整備を進める。
- ・下水道施設の老朽化の増大や使用料収入減少などの課題解決策の一つとして、包括委託や水の官民連携（ウォーター PPP）の活用を検討を進める。

<主要事業>

- ・公共下水道事業 6億5,016万円（下水道施設課）
- ・農業集落排水事業 8,500万円（下水道施設課）
- ・個別生活排水事業 1億1,746万円（下水道施設課）

下水道の維持管理の手法の一つとして、民間企業のノウハウや創意工夫を活用した官民連携方式（ウォーター PPP）の導入可能性調査について、前年度実施した調査結果に基づき、官民連携（PPP/PFI）に向けた検討を進める。

④ 政策分野 32 上下水道（下水道事業）

<重点方針> 下水道施設の長寿命化と脱炭素化

- ・汚水管渠の維持のため管内ライニングによる更生・補修材による部分修繕など、損傷度に応じた取組を行い、管路施設の更新を進める。
- ・下水浄化工場は供用開始後 43 年が経過し、安定した汚水処理を継続していくため、老朽化した施設の改築などを進める。
- ・汚水処理の過程で発生する消化ガスを活用した発電施設の整備により脱炭素化への取組みを推進する。

<主要事業>

- ・長寿命化対策の推進 2億3,450万円（下水道施設課）

管路施設長寿命化対策（管更生工事）

下水浄化工場の監視制御設備（汚泥棟）等の改築

- ・下水汚泥の堆肥化推進（下水道施設課）

下水汚泥の発生量のうち堆肥化は約 7 割であり、焼却埋立処分としている約 3 割についても堆肥化への推進を図る。